

日本の海岸線を歩く会 歩行計画書

2019年 1月9日
報告者：友松知宏

1. 計画の概要

ブロック名	九州
計画区間	スタート地点：JR博多駅 ゴール地点：松浦西九州線 久原駅
実施期間	平成31年 3月10日(日)～ 3月13日(水)
概算歩行距離	140.0Km (レンタカー併用)

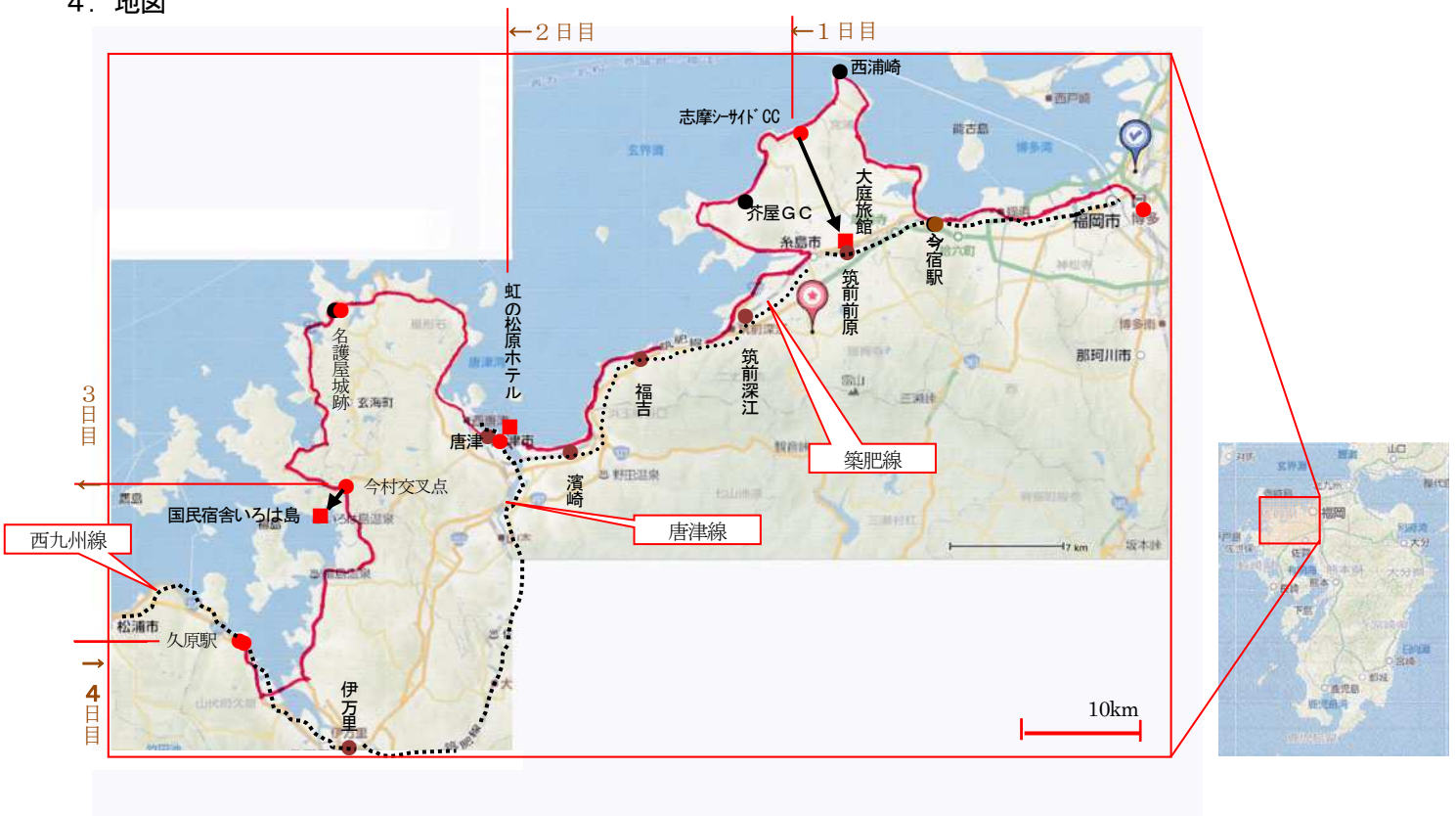
2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	ワゲル期	備考(ワゲルとの関係等)
1	リーダー・記録	友松知宏(78才)	8期	090-7774-8559 鳥取県
2	会計	友松和子(79才)		友松の妻 鳥取県
3				

3. 歩行計画概要

	月日	出発地～	到着地	歩行距離	歩行参加者	備考(宿泊)
1	3月10日	JR博多駅～志摩シーサイドカンツリークラブ		32.0Km	友松、和子	筑前前原駅前大庭旅館
2	11日		～JR唐津駅	42.3	友松、和子	国民宿舎虹の松原ホテル
3	12日		～今村交差点(唐津市玄海町)	38.9	友松、和子	国民宿舎いろは島
4	13日		～松浦西九州線 久原駅	27.5	友松、和子	
				合計)	140.7Km	

4. 地図



5. 歩行詳細

旅館もバスもない場所があり、レンタカーを併用。区間の分割は人数によって変わるので、参加者確定後に行

う。

1日目（3月10日）

JR米子駅05:32＝岡山＝09:40博多（レンタカー手配）～今宿駅～西浦崎～志摩シーサイドCC＝レンタカー＝筑前前原（大庭旅館）（32.0Km）

2日目（3月11日）

大庭旅館＝レンタカー＝志摩シーサイドCC～糸島市～筑前深江～濱崎～国民宿舎虹の松原ホテル（唐津城観光）（42.3Km）



唐津城跡（唐津観光協会 HP）

3日目（3月13日）

松原ホテル～呼子町～桃山天下市～名護屋城（観光）～玄海エネルギーパーク～今村交差点＝国民宿舎いろは島（38.9Km）

〔名護屋城博物館案内から抜粋〕

【歴史】朝鮮征伐を目的に豊臣秀吉が構えた陣城である。壱岐→対馬を経て朝鮮半島に最も近く、名護屋浦・串浦は、外波の影響を受け難く軍船を停泊させるに適した入江である。1591年加藤清正・小西行長・黒田長政によって普請が始まり、1592年完成。第1軍小西行長・宗義智〔対馬〕隊、第2軍加藤清正・鍋島直茂隊、第3軍黒田長政隊と、全9軍・16万人の日本軍が渡鮮。（文禄の役）。軍勢は漢城〔ソウル〕を落とし、開戦2ヶ月で朝鮮半島を席捲。明国境まで進出したが、明からの援軍が参戦、朝鮮水軍に補給路を絶たれ、民衆の蜂起に遭い、漢城まで撤退。石田三成が明使一行を案内して名護屋城に到着。秀吉は使節の一行を歓待し、勝者の立場から和議の条件を提示して明国の王へ持ち帰らせた。下って1596年、秀吉は明使を大坂城で引見したが、明国王の答書は先に提示した和議条件を全く認めないものだった。激昂した秀吉は、1597年再征を命じて14万の軍勢を朝鮮へ送り、「慶長の役」が始まる。戦線は明の大軍や各地の義兵、兵糧武器の不足などから朝鮮半島南部に限定され、一進一退の攻防が続いたが、1598年8月秀吉が伏見城で没すると、帰国命令が下り、朝鮮征伐は終結した。

1602年名護屋城は破却され、城郭・櫓門などは唐津城へ、大手門は伊達政宗が仙台城へ、城瓦は松浦鎮信が平戸城へ転用。石垣は1637「島原の乱」で一揆勢が名護屋城へ立て籠もる風説が流れた時、意図的に破壊されたと云われる。



名護屋城跡（名護屋城博物館 HP）

4日目（3月14日）

国民宿舎いろは島＝今村交差点～伊万里湾大橋～鳴石～JR久原駅＝レンタカー＝博多
博多への帰路途中、有田ポーセリンパークを観光（27.5Km）



ドイツ・ドレスデンのツヴィンガー宮殿を再現した有田焼のギャラリー。

宮殿内部には幕末から明治期にかけての第二次輸出期の作品を展示されている。400年におよぶ有田焼の歴史の中でも重要な作品の数々、その存在感を十分に体感できる。1870年代のウィーン万博に実際に展示された大花瓶（182cm）は必見。（有田ポーセリンパーク HP より）

6、費用（一人当たり概算）

交通費（米子発）	31,000 円	43,600 円（羽田より）
レンタカー、ガソリン	12,000 円（2人頭数割り）	8,000 円（3人頭数割り）
宿泊費	22,000 円	22,000 円
飲食費（昼食等）	5,000 円	5,000 円
雑費（入館料等）	1,000 円	1,000 円
合計	71,000 円	79,600 円

7、その他

今回は4日間コースですが、希望者がいたら、もう1日増やして、有田の街と金印（漢委奴国王印）が出土した志賀島を訪ねてみたいと思っています。参加者を募ります。

以上